

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



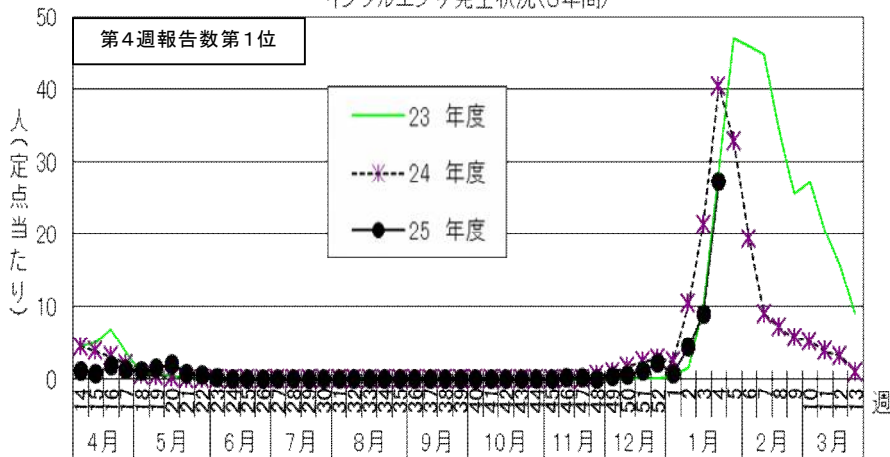
平成26年1月20日（月）～平成26年1月26日（日）〔平成26年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘 でした。

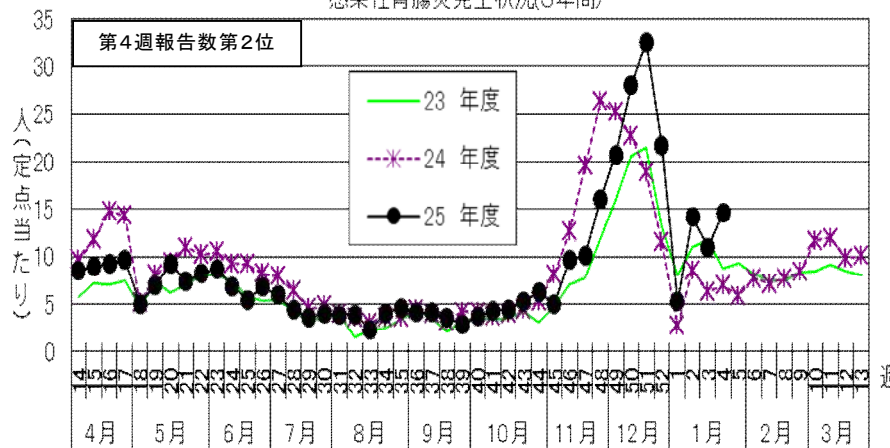
インフルエンザは定点当たり27.28人と前週（9.02）より患者報告数は大幅に増加し、流行発生注意報基準値（定点当たり10人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

感染性胃腸炎は定点当たり14.61人と前週（11.00）より患者報告数は増加しており、例年より高いレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

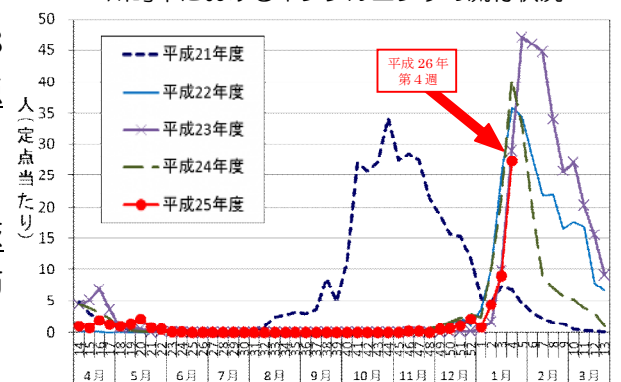


インフルエンザ流行発生注意報発令！！

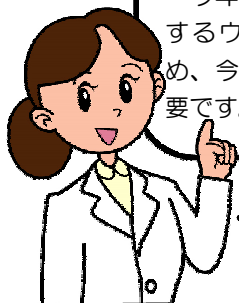
川崎市内における第4週のインフルエンザ患者報告数が、定点当たり27.28人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

今後の大きな流行に備え、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの予防対策を徹底することが重要です。

川崎市におけるインフルエンザの流行状況



平成23・24年度では、1月に最も多く検出されたウイルスは、「A香港型」でした。
今年度は、例年に比べて流行するウイルスの型が異なるため、今後の流行状況に注意が必要です。



今年はB型の集団発生も・・・

川崎市では、市内で流行しているインフルエンザウイルスの型の検査を行っています。

年明け以降の検出状況は以下のとおりです。

- ・A香港型 …… 7件
- ・AH1pdm09型 …… 19件
- ・B型 …… 12件

※AH1pdm09型：平成21年に流行した新型インフルエンザウイルス)